

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ三田		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 13日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 21名 (43%)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名 (100%)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、こどもの満足感	「安心」「楽しい」「できた」が必ず得られるよう、指導員とこども、1:1の個別支援を提供しています。また遊びを通じて支援を提供しています。	現状が常に維持できるよう新人教育に力を入れます。
2	支援の専門性	上記に合わせ、障害特性や感覚統合理論に基づいた専門的な知識や技術を用いた支援を提供しています。	現状が常に維持できるよう、新人への教育だけでなく、経験年数の多い指導員も研修参加や研修実施、また外部支援を行うなど、さらに知識技術の研鑽に努めます。
3	保護者との支援内容の共有	支援毎に必ず保護者と支援の振り返りや、困り感の軽減の見通しを共有します。また6ヶ月に1度はまとまった時間をもって面談を実施し、利用後の進捗を共有できるようにしています。質問も随時受け付け、安心して家庭の支援が行えるようにしています。	臨時でまとまった時間、面談をとることも可能です。保護者に周知し、さらに支援の内容の共有に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園、学校・他事業所との連絡調整	一部行なってはいますが、多くの時間とマンパワーを要するため、困難ケース等優先順位の高い方に限定されています。	引き続き人材の確保に努め、時間とマンパワーを確保できるようにします。
2	保護者同士の交流	1時間に2名の利用、また予約制のため、同じ保護者が出会う機会が少ないため交流する機会が少ないです。また、別途保護者会を設けてはいないため、さらに機会が少ない状況です。	ペアレントトレーニングを年2回開催しています。実施をさらに周知することで、副次的に保護者同士の交流が生まれるように進めます。
3	非常災害発生時の備え	マニュアルの整備や、訓練実施は行なっていますが、保護者への引き渡し等、事業所・保護者間の協力に関しての共有が欠けています。	マニュアルにおいて、事業所・保護者間の協力方法を整備し、共有するようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ三田

公表日 2025年 2月 7日

利用児童数 48名

回収数 21名 (43%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	0	スペース等のびのびと活動出来ている と思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	0	先生に、よく見て貰えているので安心 です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	0	0	0	見てよく分かる配置になっていると思 います。細かい玩具等はロッカーに収 納されていたりするので安心です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	21	0	0	0	いつも整頓がされています。	
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いませんか。	21	0	0	0	できないことに対して子どもの興味関 心を大切にしながらアプローチして くださっています。 苦手な事を工夫してチャレンジ出来る ようにしてくれています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いませんか。	20	0	0	1		2024年12月25日よりHPにて公表しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別 支援計画）が作成されていると思いませんか。	21	0	0		丁寧にも面談が実施されていま す。	
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援 （放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等 デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移 行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いませんか。	20	0	0	1		全ての項目を適切に設定し、具体的な支援内容を 示しています。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われ ていると思いませんか。	21	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	21	0	0	0	いつも新しい遊びがあって子どもは飽 きずに通っています。 毎回色々な遊びを活動に取り入れてく れています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等 との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	9		所属する園・学校との交流の機会は確保される体 制ではあるが、サービス（内）としては提供して いない。限られた通所支援の時間内に、すでに確 保されている機会を提供することは不必要な重複 と、支援量の不十分さを発生させると考えてお り、次年度に設ける予定はない。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	丁寧な説明がありました。	
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支 援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	丁寧な説明で施設と利用者の共通理解 ができています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	19	0	0	2		年2回実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていますか。	21	0	0	0	毎回活動のフィードバックがありま す。 毎回学校の様子や苦手な様子等聞 き取りしてくれています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	1	始まったばかりでわからない とてもよくしてくさっています。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0	色々相談にも応じてれています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	1	7	特になような気がしています。すみません。 放課後サービス以外では交流会があっても参加できていません。	保護者会と連携し、研修会への参加や補助員イベントを行なっています。年に1度のため、利用開始のタイミングによって把握できない方もおられると思います。このような活動を行った際は、内容報告を長期掲示するなど周知方法を再検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	2		インスタグラムを通じて活動内容を共有しています。また通知アプリを使用し、必要な情報を適時発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	5	マニュアルが提示されています。	各マニュアルは策定済みです。また研修、訓練、訓練報告も行なっていますが、周知が不足している結果となったため、周知方法の再検討を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	9		BCPは策定済みです。訓練は本年度内に行う予定です。実施後上記同様周知しやすい方法を検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2		週1回ミーティングにて、安全確保のための業務改善を検討する時間を設けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	3	怪我をしたことがまだないのでわかりません。	打ち身や擦過傷があった場合、保護者に該当箇所の確認をしてもらい、かつ、活動の再開について確認するようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0	とても楽しく通っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	0	0	0	子どもは先生のこと施設のことも大好きで、いつも利用の日を楽しみにしています。 どんな事をしようか楽しみに、毎回考えてます。 毎週楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0	いつも本当にありがとうございます。 療育のおかげで毎週、子どもの成長を感じられます。ありがとうございます。  とても満足しています。  期間がきまっているので、長く通えないのが、すこし残念です～  支援を受けるようになってから、運動機能の向上が見られました。前に比べて、チャレンジしよう、チャレンジしでできたら、もっとやってみようという意識になっています。運動会で周りの子供と比較して、別段運動できていないかと言われると、そうではなく、同年代と同程度かなと感じました。支援を受ける前は、おそらく同程度ではなかったので、その点はとても満足しています。運動機能が向上した事により、他の面（塗り絵や文字を書く）に取り組み自信になったかなと思っています。	利用期間については、ご不安を感じられている保護者様が多くおられることを認識しております。現在、困りかんを抱えておられる多くの方に、広くサービスを受けていただく観点から、1年と定めています。  短い利用期間であることから、「困り感の軽減」は達成できないため、「困り感軽減の見通しを立てる・共有する」を目標としています。日々の支援への同席や、利用毎の振り返り、面談、ホームワークを通じて、ご家庭で支援ができるよう、支援しています。 これにより利用終了後も、ご家庭の支援継続にて「困り感の軽減」を目指せると考えています。しかし、1年の間に見通しが立たないこともあるため、利用期間の延長も、支援の手段として今後選べる状況となることが望ましいと考えています。 今後新店舗のオープンなど、いくつかの対策を持って、引き続き前向きに検討いたします。
							利用者様の肯定的な評価、大変ありがたく思います。子ども達の心が健やかに育つよう、そして保護者様が子どもの成長を実感し安心できるよう、これまで以上に質の良いサービスを提供できるようスタッフ一同取り組んでまいります。これから	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ三田		公表日		2025年 2月 7日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	SI療法を行うにあたり、十分な広さを確保できている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	加算以上の人員を配置しており、十分な配置数となっている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	各空間は役割に応じて扉で区切られ、物品も異なるため、わかりやすく構造化されている。また障害特性をこどもの課題だけでなく、環境の課題と捉え、遊戯室を通らない動線が確保する等、行動の課題を、本人の問題だけにせず、環境の課題もあることを提示している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日掃除消毒、空気清浄機を稼働させており、清潔な環境となっている。また、感覚の偏りのある児童に対し、豊富な感覚が提供できる環境となっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	情緒不安定なこどもに対し、スヌーズレン室を提供することができる。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎週ミーティングを設けており、業務改善に関わる検討の時間をとっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年1回実施し、業務改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	6と同じ。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者による外部評価は行っていない。関係機関の来所は原則断らず、密な関係づくりを継続しており、それによって第三者目線としてのご意見をいただける機会としている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内では、新人研修、フォローアップ研修、専門研修、管理者研修、その他学習、保育所等訪問会議内において各課題となる内容に対し研修を実施している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	2024年12月25日よりHPIにて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	7	0	日々の活動の様子に加え、発達記録やモニタリングを通して、適切にアセスメントし、ニーズを引き出した上で計画書を作成している。			
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	作成する際は、児発管と担当者で担当者会議を行い、支援を共通理解すべく検討を行なっている。			
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画書はカルテにて保管し、担当外が自由に閲覧することで、支援の共通理解を図っている。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	JSI-Rにてフォーマルなアセスメントを行い、日々の支援中での観察や保護者からの情報といったインフォーマルなアセスメントを使用して確認している。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	全ての項目を適切に設定し、具体的な支援内容を示している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	他の指導員と相談しながら、担当が活動プログラムを中心に考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	最良な支援を提供するという観点のもと一人一人に合わせたプログラムを選択しており、固定化することはない。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動を中心にしながら、こどもの状況に応じて、集団活動を適時組み合わせ、計画書を作成し、支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	並行児との関わりにおいて課題がある児童に関しては、並行児の担当スタッフと事前に協議の上、支援を行なっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	上記、または並行児に入っていた担当同士で気づくことがあれば、互いに共有するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々記録は原則当日に入力するようにしている。考察を記載する項目があり、その入力を通じて次回が最良の支援になるよう改善の機会を捉えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月に一度モニタリングを行い、計画書の見直しを行なっている。また、必要に応じて、家庭支援加算にて面談サービスを利用している。
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0	<p><b>&lt;自立支援と日常生活の充実のための活動&gt;</b> 自身の心身が自立してコントロールできるよう感覚調整機能の向上を主とした活動を提供している。</p> <p><b>&lt;創作活動&gt;</b> 遊具の組み合わせや遊びのルール作りなど、創造的な発想を生かすこと、またトライアンドエラーを通じてさらなる創造を行う機会を提供している。</p> <p><b>&lt;地域交流の機会の提供&gt;</b> 定期的に地域の野外活動が行える場所にて支援、地域資源を知る、家庭で利用するといった、地域とのつながりの機会を提供している。</p> <p><b>&lt;余暇の提供&gt;</b> 遊びを通じて新たな興味の発見機会を提供している。</p>
25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	創作活動を中心に、主体的に活動を自己選択できるよう、支援を実施している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	サービス担当者会議が開かれた際は、担当者が参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要度に合わせ、市各課、また、園・学校と連携する体制を整えている。	
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	センター主催の研修参加を通じてスーパーバイズを受ける機会を設けている。	

関係機関や保護者との連携	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	設けていない。 基本的には園・学校を利用されている方が利用するため、交流の機会は確保されている。	所属する園・学校との交流の機会は確保される体制ではあるが、サービス（内）としては提供していない。限られた通所支援の時間内に、すでに確保されている機会を提供することは不必要な重複と、支援量の不十分さを発生させると考えており、次年度に設ける予定はない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	利用毎にFBの時間があり、こどもの発達状況や課題の共通理解を更新している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	年2回実施している。	
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	園へのスムーズな移行を目指し、所属園と事業所間で児童の様子を確認しに行くなど、質の高い情報共有・相互理解を図っている。	
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	必要に応じてサポートファイルを作成し、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	0		
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0		
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	37	<u>【放デイのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	5	学校からはHPを通じて年間予定を共有している。送迎を行っていないため、特に連絡調整は行っていない。	
	38	<u>【放デイのみ】</u> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学前相談前に、園と利用児の状態を共通理解する機会を設けている。	
39	<u>【放デイのみ】</u> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現状対象者がいないため行っていない。		
40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	三田市においてはこども部門を司る自立支援協議会が設置されていない。通所支援事業所連絡会が有志で行われており、こちらの運営メンバーとして積極的に参加している。また上がった課題を自立支援協議会に設置されている相談支援連絡会に共有しており、自立支援協議会とのつながりが確保される仕組みを整えている。	参加していることを従業者に共通理解する機会を設ける。	
保護者	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に、利用契約書、重要事項説明書を通じて行っている。また質問があった際は、随時丁寧に説明を行っている。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリング時、主に保護者から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けている。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	作成された計画書を用いて、支援内容の説明を行い同意を得ている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	支援毎にフィードバックを行い、相談の機会を作っている。また必要に応じて、事業所内相談を行っている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	保護者会と連携し、研修会への参加や補助具イベントを行っている。	

戸への説明等	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	重要事項説明書にて、苦情窓口を周知している。また他のスタッフが把握した際も迅速に担当である管理者が対応するようにしてい
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタグラムを通じて活動内容を共有している。また通知アプリを使用し、必要な情報を適時発信している。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	重要事項説明書に記載、同意、また別途個人情報使用同意書にて同意を得ることで留意している。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	説明の際は原則紙面にて行なっている。また、利用児に対しては発達段階や障害の程度に合わせた伝達を行なっている。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	社会福祉協議会を通じて、地域住民に対して研修会を周知している。研修会の内容に事業所の運営内容を含めることで、開かれた運営となるよう進めている。
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	44の通り。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルは策定済み。研修、訓練を通じて職員に周知し、訓練報告を通じて家族に周知を図っている。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCPは策定済み。訓練は本年度内に行う予定。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	利用登録書にご記載いただくことで確認している。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	54と同じ。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画は策定し、研修や訓練を実施している。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づき、特に災害時のこどもの引き渡しがスムーズに行えるよう取り組んでいる。訓練報告を通じて家族へ周知している。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ミーティング毎に行なっている。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修の機会を確保し、適切な対応が行えるよう努めている。
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束を行う必要がある場合、計画書に記載した上で、こどもや保護者に十分に説明、了解を得る体制を整えている。現時点で該当者はいない。	